

# 付 録

## 1 選定基準

### (1) カテゴリ区分の考え方

調査対象は、自然環境保全の観点から重要なもの、その他の観点から注目されるものに  
分けて考えた。

#### ① 自然環境の保全にかかわる種・群落

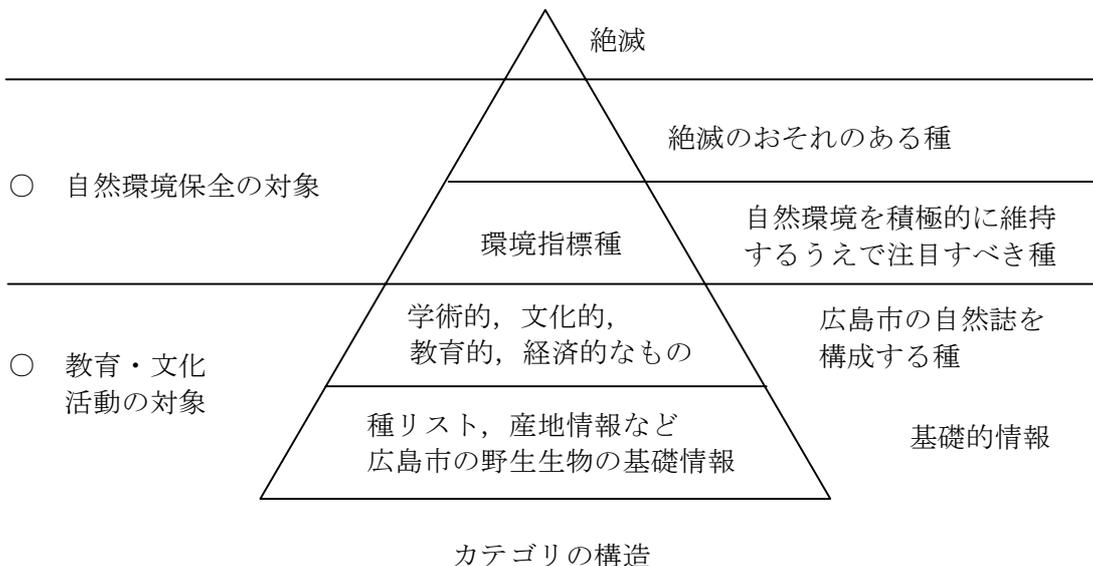
種(個体群)そのものが保護上重要である絶滅のおそれの大きいもの(いわゆるレッド  
データブック種)と、自然環境を積極的に維持していく上で注目すべき種(個体群)及び  
群落を取り上げる。

選定された種は、今後の開発事業などに関して自然環境保全の対象種として扱われる。

#### ② その他の種など

生物学上注目される種(個体群)、文化的価値を有するもの、環境教育の観点から注目  
されるものなど、広島市の自然誌としての要素とみなされるものを取り上げる。

これらの選定は、今後の環境保全行政に反映させることを目的とする。



## (2) カテゴリ

### ① 絶滅

市域では、絶滅した可能性が高いものを選定する。

#### ア 絶滅

市域において10～20年前の生育・生息記録があるが、その後の確実な記録がないもの

#### イ 野生絶滅

市域において10～20年前の生育・生息記録があるが、その後の確実な記録がないもので、公的な機関の管理下で栽培・飼育されているもの

### ② 自然環境の保全にかかわる対象群

#### ア 広島市の絶滅のおそれのあるもの

環境省の評価基準を参考にし、保全の必要性のランクに応じて区分した。

(ア)及び(イ)で選定する種は、選定根拠、保全の必要性の程度、保全方針を示すことができるものとし、環境省のカテゴリにより「絶滅危惧」に選定された種は原則として選定する。

#### (ア) 絶滅危惧

現在の圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来に広島市域で個体群の存続が危ぶまれるもの

#### (イ) 準絶滅危惧

現時点での危険度は小さいが、生育・生息条件の変化によって「絶滅危惧」のランクに移行する可能性が大きいもの

#### (ウ) 軽度懸念

環境省レッドデータブック、広島県レッドデータブックの選定種またはそれに相当する種であるが、「絶滅危惧」または「準絶滅危惧」の要件をみたさないものうち、広島市域では存続基盤が比較的安定しているもの

#### (エ) 情報不足

環境省レッドデータブック、広島県レッドデータブックの選定種またはそれに相当する種であるが、「絶滅危惧」または「準絶滅危惧」の要件をみたさないものうち、希少な種であるが広島市域での現状が不明なもの

#### イ 環境指標種

環境指標種(個体群)そのものは絶滅の危険性が大きいものではないが、その種(個体群)に注目することによって、特異な環境、生物多様性、二次的自然などの観点から、重要と判定される自然環境の維持に貢献しうるもの。

ウ 自然誌構成種

自然環境保全の対象として取り上げる要件をみたしていないが、広島市の自然環境を理解するうえで重要と判断できるもの。

取り上げる理由が明確であり、個々の種についてそれぞれ完結した内容をもつもの。

分布特性、種間相互作用、移入、環境指標性など生物学上注目されるもの、巨樹など文化財的価値の高いもの。

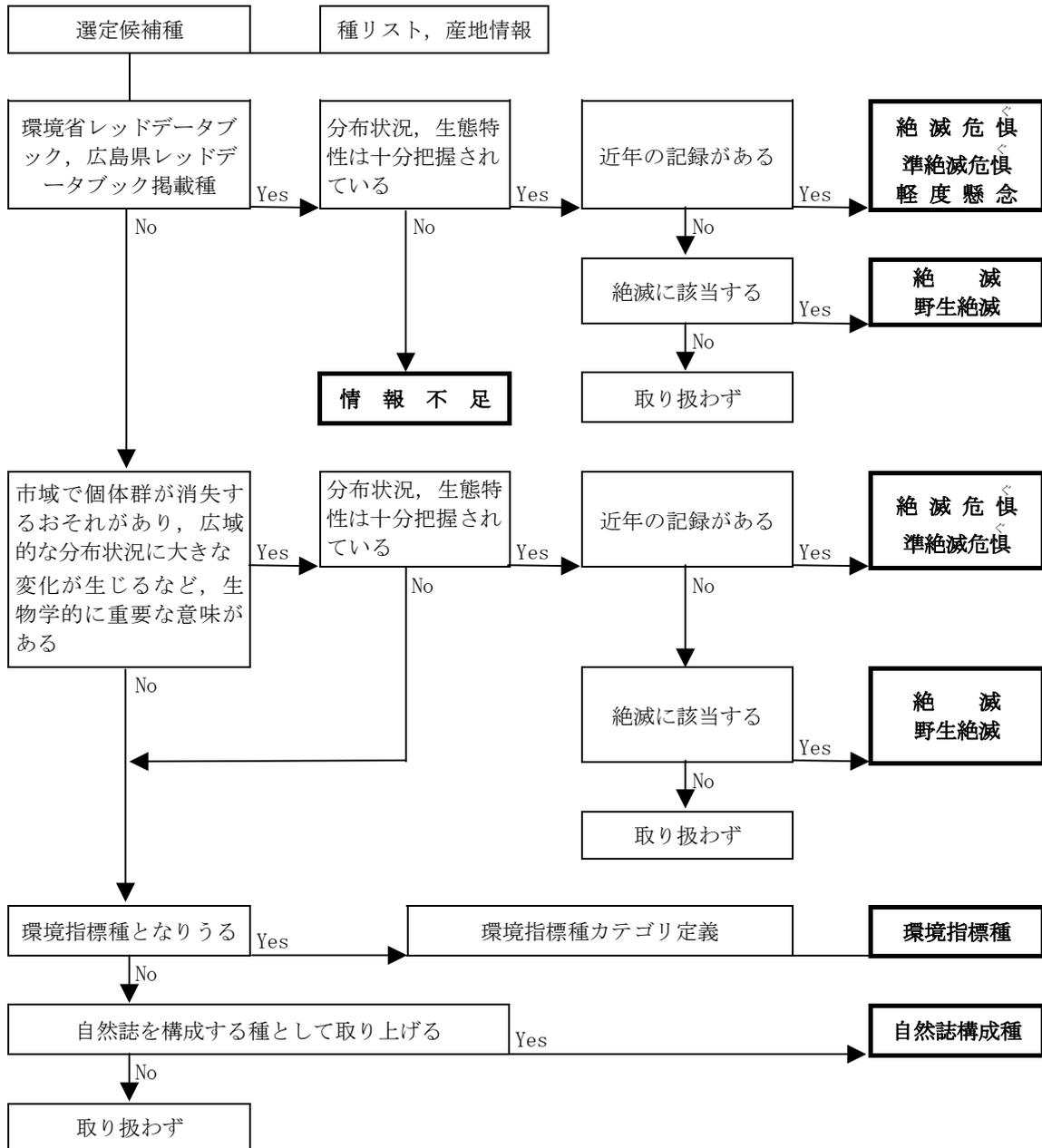
表1 カテゴリ定義

区分	基本概念	要件	備考
絶滅	絶滅	市域では、絶滅した可能性が高い。	市域において10～20年前の生育・生息記録があるが、その後の確実な記録がない。
	野生絶滅		市域において10～20年前の生育・生息記録があるが、その後の確実な記録がない。 公的な機関の管理下で、栽培・飼育されている。
広島市の絶滅のおそれのあるもの	絶滅危惧 絶滅の危険性の高いもの	現在の状態をもたらす圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来に市域での個体群の存続が危ぶまれる。	確実な情報により、つぎに該当するもの。 大部分の生育・生息地で、 ①個体数の大幅な減少、 ②生育・生息条件の明らかな悪化、 ③再生産を上回る捕獲・採取圧のいずれかが認められる。
	準絶滅危惧 存続基盤が脆弱なもの	現時点での危険度は小さいが、生育・生息条件の変化により上位ランクに移行する可能性が高い。	生育・生息状況の推移からみて、個体数の減少や生育・生息条件の悪化などの傾向が著しく、今後さらに進行するおそれがある。 または、環境条件の変化により、容易に危険度が増大する属性（希少性、特異性、孤立性など）を有する。
	軽度懸念	市域では、存続基盤が比較的安定している。	環境省レッドデータブック、広島県レッドデータブックの選定種であるが、市域では確実な情報により「絶滅危惧」「準絶滅危惧」にランクされないと判定できる。
	情報不足	希少な種であるが、市域での現状が不明である。	環境省レッドデータブック、広島県レッドデータブックの選定種であるが、ランクを判定する情報が得られていない。
環境指標種	重要な自然環境を積極的に保全する。	種（個体群）そのものは絶滅の危険性が大きいものではないが、その種（個体群）に注目することによって、特異な環境、生物多様性、二次的自然などの観点から、重要と判定される自然環境の維持に貢献する。	地域計画などに応用していくことを目的とする。

### (3) 選定候補種のラベル振り分けの作業フロー

選定候補種は、「広島市の生物」掲載種、環境省または広島県レッドデータブックの掲載種のうち旧湯来町で過去に確認された種または生育・生息の可能性のある種、その他絶滅のおそれがあると考えられる種をはじめに整理した。

これらの選定候補種を、カテゴリ区分に基づき、以下の手順で振り分けた。



## 2 選定種一覧表（分類順）

今回の調査により追加，カテゴリ変更された種を含む選定種の分類群ごとの種別，カテゴリ別の選定状況は，第1章3(2)の表8(12～18ページ)のとおりであり，その内容を分類順に整理すると表2のとおりである。

種の並びは主として下記文献に従った。

### 種子植物

大井次三郎，「新日本植物誌顕花編」，至文堂，1983

### シダ植物

田川基二，「原色日本羊歯植物図鑑」，保育社，1959

### コケ植物

岩月善之助編，「日本の野生植物 コケ」，平凡社，2001

### 地衣類・藻類

広島大学理学部附属宮島自然植物実験所・比婆科学教育振興会編，「広島県植物誌」，中国新聞社，1997

### 菌類

今関六也・本郷次雄編著，「原色日本新菌類図鑑(I)」，保育社，1987

今関六也・本郷次雄編著，「原色日本新菌類図鑑(II)」，保育社，1989

### 群落

宮脇昭編著，「日本植生誌 中国」，至文堂，1983

### 哺乳類

日本哺乳類学会編，「レッドデータ 日本の哺乳類」，文一総合出版，1997

### 鳥類

日本鳥学会目録編集委員会，日本産鳥類リスト，鳥学会誌，46:59-91，1997

### 爬虫類・両生類

比婆科学教育振興会編，「広島県の両生・爬虫類」，中国新聞社，1996

### 淡水魚類

比婆科学教育振興会編，「広島県の淡水魚」，中国新聞社，1990

### 昆虫類・クモ類

比婆科学教育振興会編，「広島県昆虫誌 I」，広島県昆虫誌刊行会，1997

比婆科学教育振興会編，「広島県昆虫誌 II」，広島県昆虫誌刊行会，1997

谷川明男，「日本産クモ類目録」，<http://www.asahi-net.or.jp/~dp7a-tnkw/list.html>，2006

### 甲殻類・貝類

三宅貞祥，「原色日本大型甲殻類図鑑(I)」，保育社，1982

三宅貞祥，「原色日本大型甲殻類図鑑(II)」，保育社，1983

東正雄，「原色日本産陸貝類図鑑」，保育社，1982

表2 広島市の絶滅のおそれのあるもの等の選定状況と法等指定状況(分類順) その1

分類群	和名	広島市の絶滅のおそれのあるもの						法等指定状況					備考		
		絶滅	野生絶滅	絶滅危惧	準絶滅危惧	軽度懸念	情報不足	環境指標種	文化財保護法	種の保存法	県保護条例	環境省RDB		水産庁RDB	広島県RDB
種	コウヤマキ							○						情報不足より変更	
	ミクリ							○				NT	NT		
	カワツルモ	○										EN	CR+EN		
	イトクズモ	○										VU	CR+EN		
	ホンゴウソウ			○								EN	CR+EN		
	ウエマツソウ			○								VU	CR+EN	追加	
	ヌマガヤ							○							
	コウキヤガラ				○										
	アンベライ (ネビキグサ)				○										
	オモゴウテンナンショウ			○								CR	VU		
	キバナノアマナ				○										
	カタクリ				○										
	ホソバナコバイモ			○									VU	VU	
	エンレイソウ							○							追加
	ノハナショウブ				○										自然誌構成種より変更
	ヒナノジャクジョウ			○										CR+EN	
	クマガイソウ			○									VU	CR+EN	情報不足より変更
	サギソウ			○									VU	VU	
	ミズトンボ				○								VU	VU	
	ウチョウラン			○									VU	VU	
ヒナラン			○									EN	CR+EN		
子	ジンバイソウ				○									追加	
	オオヤマサギソウ				○								NT	追加	
	トキソウ			○								VU	VU		
	ムヨウラン				○								NT	追加	
	ナヨテンマ	○										CR	EX		
	キンラン				○							VU	NT	情報不足より変更	
	タシロラン			○								NT	CR+EN		
	ヒメフタバラン			○									VU	追加	
	ヒメノヤガラ			○											追加
	ヨウラクラン			○										VU	追加
物	キンセイラン			○								EN	CR+EN	追加	
	エビネ				○							VU	VU		
	キエビネ			○								EN	CR+EN	情報不足より変更	
	ナツエビネ				○							VU	VU		
	サルメンエビネ			○								EN	CR+EN	追加	
	セッコク				○										
	マメツタラン				○							VU	NT		
	ムギラン			○								VU	VU	情報不足より変更	
	マツラン			○										VU	追加
	クモラン				○									NT	
ブナ								○						自然誌構成種より変更	
イヌブナ								○						自然誌構成種より変更	
キミズ				○											
ツルマオ					○								NT		
ツチトリモチ			○										VU		
ヌカボタデ								○				VU			
ヒロハマツナ								○				VU	VU		
マルミノヤマゴボウ				○									NT	追加	
カザグルマ			○									VU	VU		

(注)文化財保護法：特別天然記念物、天然記念物(国指定)、広島県天然記念物  
種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」、国際希少野生動植物種、  
国内希少野生動植物種  
県保護条例：「広島県野生生物の種の保護に関する条例」、指定野生生物種、特定野生生物種  
環境省RDB、広島県RDB：EXは絶滅、CR+ENは絶滅危惧Ⅰ類、CRは絶滅危惧ⅠA類、ENは絶滅危惧ⅠB類、  
VUは絶滅危惧Ⅱ類、NTは準絶滅危惧、DDは情報不足  
水産庁RDB：Eは絶滅危惧種、Vは危急種、Rは希少種

表2 広島市の絶滅のおそれのあるもの等の選定状況と法等指定状況(分類順) その2

分類群	和名	絶滅					法等指定状況					備考			
		絶滅	野生絶滅	絶滅危惧	準絶滅危惧	軽度懸念	情報不足	環境指標種	文化財保護法	種の保存法	県保護条例		環境省RDB	水産庁RDB	広島県RDB
種	オキナグサ			○							VU		VU	情報不足より変更	
	アズマイチゲ				○								VU		
	ユキワリイチゲ				○										
	トウゴクサバノオ			○									VU	追加	
	ヤマシャクヤク			○							VU		NT		
	ケナシベニバナヤマシャクヤク						○								追加
	オガタマノキ					○								NT	
	ナガミノツルクケマン					○						NT			
	コイヌガラシ						○					NT			
	ハナナズナ	○										CR		EX	
	タカネマンネングサ							○							追加
	ツメレンゲ				○							NT		NT	
	タコノアシ	○										VU		CR+EN	
	トベラ							○							
	アテツマンサク					○						NT			
	ユキヤナギ					○								NT	
	イワガサ					○									
	マルバシャリンバイ							○							
	イヌハギ						○					VU		NT	
	カンコノキ	○													
ツゲ					○										
子 シイモチ						○							NT		
テツカエデ					○								NT	追加	
コミネカエデ							○							追加	
ウドカズラ							○						DD		
ナツアサドリ					○										
ミズマツバ						○					VU		NT		
ゲンカイツツジ					○						VU		NT		
植 ホンシャクナゲ													VU	準絶滅危惧より変更	
セトウチウンゼンツツジ (シロバナウンゼンツツジ)							○								
キシツツジ							○						NT		
ツルマンリョウ(ツルアカ ミノキ)					○					指定			CR+EN		
ハマサジ						○					VU		NT		
シロバイ						○							NT		
コハクウンボク						○							NT	追加	
アキノクサタチバナ	○										CR		EX		
ハマゴウ							○								
オウギカズラ							○							追加	
ジャコウソウ						○							NT	追加	
マネキグサ						○					VU		NT	追加	
ミゾコウジュ							○				NT		NT		
イヌノフグリ							○				VU				
カワヂシャ							○								
キヨスミウツボ						○							NT	追加	
ムラサキミミカキグサ						○					VU		VU		
スズムシバナ							○								
シロバナイナモリソウ						○								追加	
ウスバヒョウタンボク						○					VU		VU		
ヤマヒョウタンボク						○							VU	軽度懸念より変更	
マツムシソウ	○													追加	

(注)文化財保護法：特別天然記念物，天然記念物(国指定)，広島県天然記念物  
種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」，国際希少野生動植物種，国内希少野生動植物種  
県保護条例：「広島県野生生物の種の保護に関する条例」，指定野生生物種，特定野生生物種  
環境省RDB，広島県RDB：EXは絶滅，CR+ENは絶滅危惧Ⅰ類，CRは絶滅危惧ⅠA類，ENは絶滅危惧ⅠB類，  
VUは絶滅危惧Ⅱ類，NTは準絶滅危惧，DDは情報不足  
水産庁RDB：Eは絶滅危惧種，Vは危急種，Rは希少種

表2 広島市の絶滅のおそれのあるもの等の選定状況と法等指定状況(分類順) その3

分類群	和名	広島市の絶滅のおそれのあるもの					法等指定状況					備考			
		絶滅	野生絶滅	絶滅危惧	準絶滅危惧	軽度懸念	情報不足	環境指標種	文化財保護法	種の保存法	県保護条例		環境省RDB	水産庁RDB	広島県RDB
種子植物	キキョウ										VU		NT		
	カワラハハコ												VU	追加	
	フジバカマ										VU		CR+EN		
	アオヤギバナ														
	ウラギク(ハマシオン)										VU		VU		
	フクド(ハマヨモギ)													NT	
	サンベサワアザミ													NT	追加
シダ植物	スグラン										EN		CR+EN	追加	
	ミズニラ								指定		VU		CR+EN		
	ハマハナヤスリ														
	フジシダ												VU	追加	
	ハコネシダ														
	ミズワラビ												VU		
	シノブ														
	ナガサキシダ													NT	
	ツクシイワヘゴ														
	ホソバシヨリマ													NT	
	ヘイケイヌワラビ										EN		CR+EN		
	アキイヌワラビ													NT	
	オニヒカゲワラビ														
	オクタマシダ														
	クラガリシダ										EN		CR+EN	追加	
	イワオモダカ													VU	追加
	イワヒトデ													VU	
	デンジソウ											VU		CR+EN	
	サンショウモ											VU		CR+EN	
	アカウキクサ											VU		NT	
コケ植物	カミムラヤスデゴケ												CR+EN	追加	
	サワクサリゴケ														
	カビゴケ										CR+EN		CR+EN		
	ウロコゼニゴケ														
	ウキゴケ										CR+EN		NT		
	イチョウウキゴケ										CR+EN		CR+EN		
	ホソベリミズゴケ										DD		VU	追加	
	オオミズゴケ										CR+EN		NT		
	クロゴケ												CR+EN	追加	
	キセルゴケ												CR+EN		
	クマノチョウジゴケ												CR+EN	追加	
	クマノゴケ										CR+EN		VU		
	ホウライスギゴケ														
	ユウレイホウオウゴケ														
	エビゴケ														
	カワゴケ										CR+EN		DD		
	フロウソウ														
	ナワゴケ														
	キノクニキヌタゴケ														
	カトウゴケ										CR+EN		CR+EN		
キヨスミイトゴケ															
ソリシダレゴケ															
ヒロハシノブイトゴケ										CR+EN		CR+EN	追加		

(注)文化財保護法：特別天然記念物，天然記念物(国指定)，広島県天然記念物  
種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」，国際希少野生動植物種，  
国内希少野生動植物種  
県保護条例：「広島県野生生物の種の保護に関する条例」，指定野生生物種，特定野生生物種  
環境省RDB，広島県RDB：EXは絶滅，CR+ENは絶滅危惧 類，CRは絶滅危惧 A類，ENは絶滅危惧 B類，  
VU は絶滅危惧 類，NTは準絶滅危惧，DDは情報不足  
水産庁RDB：EIは絶滅危惧種，VIは危急種，RIは希少種

表2 広島市の絶滅のおそれのあるもの等の選定状況と法等指定状況(分類順) その4

分類群	和名	絶滅		広島市の絶滅のおそれのあるもの				法等指定状況						備考	
		絶滅	野生絶滅	絶滅危惧	準絶滅危惧	軽度懸念	情報不足	環境指標種	文化財保護法	種の保存法	県保護条例	環境省RDB	水産庁RDB		広島県RDB
コケ植物	コウヤトゲハイゴケ			○										VU	追加
	ツクシヒラツボゴケ			○											
地衣類	アンチゴケ					○								VU	絶滅危惧より変更
	トゲトコブシゴケ			○											
	チヂレトコブシゴケ					○									絶滅危惧より変更
	オオスルメゴケ			○										VU	
	チヂレコヨロイゴケ			○										VU	
	エビラゴケ			○										VU	
	ウラグロエビラゴケ			○										VU	
	ヘラガタカブトゴケ						○								絶滅危惧より変更
	トゲヨロイゴケ			○											
	イワタケ				○									VU	追加
藻類	シャジクモ					○					CR+EN				
	オオシャジクモ						○				CR+EN			DD	
	ヒメフラスコモ						○				CR+EN				
	キヌフラスコモ						○				CR+EN			DD	
菌類	ドングリキンカクキン				○									NT	
	トガリツキミタケ				○									NT	
	アケボノタケ				○									NT	
	ナナイロヌメリタケ				○									NT	
	ホシミノヌメリガサ(仮称)			○											
	ツキヨタケ						○				VU				
	ウスキブナノミタケ						○								準絶滅危惧より変更
	カバイロコナテングタケ				○									NT	
	ソライロタケ				○									NT	
	キヒダイッポンシメジ				○									VU	
	オオヤシャイグチ				○									NT	
	アヤメイグチ				○									NT	
	アシナガイグチ				○									NT	
	アキノアシナガイグチ				○									VU	
	タマノリイグチ				○									VU	
	ヒメウグイスイグチ				○									NT	
	ウツロイイグチ				○									NT	
	コウタケ				○										
	ツチグリカタワタケ				○						VU				
	コウボウフデ				○									NT	
オニフスベ				○									NT		
キヌガサタケ				○											
ウスキキヌガサタケ				○						VU			VU		
群落	イノデアタブノキ群集				○										特定植物群落
	カナメモチーコジイ群集				○										特定植物群落
	シイモチーシリブカガシ群集				○										特定植物群落
	ナナムノキーアラカシ群集				○										特定植物群落
	ツクバネガシーシラカシ群集				○										特定植物群落
	シキミーモミ群集					○									準絶滅危惧より変更
	アブラチャンーホソバタブ群集				○										特定植物群落
	シノブーアカマツ群集					○									
	ムクノキーエノキ群集	○													特定植物群落
	ハマサジ群集				○										
フクド群集				○											

(注)文化財保護法：特別天然記念物、天然記念物(国指定)、広島県天然記念物  
種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」、国際希少野生動植物種、国内希少野生動植物種  
県保護条例：「広島県野生生物の種の保護に関する条例」、指定野生生物種、特定野生生物種  
環境省RDB、広島県RDB：EXは絶滅、CR+ENは絶滅危惧Ⅰ類、CRは絶滅危惧ⅠA類、ENは絶滅危惧ⅠB類、  
VUは絶滅危惧Ⅱ類、NTは準絶滅危惧、DDは情報不足  
水産庁RDB：Eは絶滅危惧種、Vは危急種、Rは希少種

表2 広島市の絶滅のおそれのあるもの等の選定状況と法等指定状況(分類順) その5

分類群	和名	広島市の絶滅のおそれのあるもの						法等指定状況					備考	
		絶滅	野生絶滅	絶滅危惧	準絶滅危惧	軽度懸念	情報不足	環境指標種	文化財保護法	種の保存法	県保護条例	環境省RDB		水産庁RDB
群	マアザミーヌマガヤ群集				○									
	イトイヌノハナヒゲ群集				○									
	クロモジープナ群集			○										追加, 特定植物群落
	イヌブナ群落			○										
	クロソヨゴーツガ群集					○								特定植物群落
	クロソヨゴーツガ群集コウヤマキ亜群集				○									追加, 特定植物群落
哺乳類	カワネズミ						○						VU	
	コキクガシラコウモリ						○							
	ユビナガコウモリ						○						NT	
	テングコウモリ						○				VU		VU	
	コテングコウモリ						○				VU		VU	
	オヒキコウモリ						○				DD		CR+EN	
	ニホンモモンガ						○						NT	
	ムササビ							○						
	ヤマネ						○	○				NT		NT
	ツキノワグマ						○		国際	指定				CR+EN
鳥類	ニホンイタチ						○							NT
	チュウサギ						○				NT		NT	
	ミゾゴイ						○				NT		DD	
	ミサゴ					○					NT		NT	
	ハチクマ						○				NT		NT	
	ハイタカ						○				NT		NT	
	オオタカ						○		国内		VU		VU	
	サシバ						○						DD	環境指標種より変更
	クマタカ						○		国内		EN		CR+EN	
	ハヤブサ						○		国内		VU		VU	
	オシドリ					○							NT	
	ヤマドリ						○						NT	
	ダイゼン							○					NT	
	ダイシャクシギ					○							NT	
	ハマシギ							○					NT	
	コアジサシ						○		国際		VU		CR+EN	
	アオバズク						○							環境指標種より変更
	フクロウ						○							環境指標種より変更
	コミミズク						○						NT	
	ヨタカ						○						NT	
アカショウビン						○								
ブッポウソウ			○							VU		CR+EN		
オオアカゲラ						○						NT		
ヤイロチョウ			○					国内		EN		CR+EN		
オオヨシキリ							○							
サンコウチョウ							○					NT		
爬虫類	イシガメ				○								NT	自然誌構成種より変更
	スッポン						○				DD		DD	自然誌構成種より変更
	タワヤモリ					○							VU	
	トカゲ				○								NT	自然誌構成種より変更
両生類	タカチホヘビ					○							NT	
	ニホンヒキガエル				○								VU	
	ニホンアカガエル						○						NT	
トノサマガエル						○						NT	自然誌構成種より変更	

(注)文化財保護法：特別天然記念物，天然記念物(国指定)，広島県天然記念物  
種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」，国際希少野生動植物種，国内希少野生動植物種  
県保護条例：「広島県野生生物の種の保護に関する条例」，指定野生生物種，特定野生生物種  
環境省RDB，広島県RDB：EXは絶滅，CR+ENは絶滅危惧Ⅰ類，CRは絶滅危惧ⅠA類，ENは絶滅危惧ⅠB類，  
VUは絶滅危惧Ⅱ類，NTは準絶滅危惧，DDは情報不足  
水産庁RDB：Eは絶滅危惧種，Vは危急種，Rは希少種

表2 広島市の絶滅のおそれのあるもの等の選定状況と法等指定状況(分類順) その6

分類群	和名	絶滅					環境指標種	法等指定状況					備考	
		絶滅	野生絶滅	絶滅危惧	準絶滅危惧	軽度懸念		情報不足	文化財保護法	種の保存法	県保護条例	環境省RDB		水産庁RDB
両生類	ヌマガエル													
	オオサンショウウオ				○			○	国際		NT		VU	
	イモリ							○					NT	自然誌構成種より変更
淡水魚類	ワカサギ				○									
	シラウオ			○										
	サツキマス				○						E	CR+EN		(自然個体群)
	ヤリタナゴ			○										
	アブラボテ				○								NT	
	スジシマドジョウ(中型種族)					○							VU	
	インドジョウ			○							EN	V	VU	
	アカザ			○							VU		CR+EN	水産庁：九州の個体群が危急種
	メダカ				○						VU	E	CR+EN	
	オヤニラミ				○						NT	R	VU	
	ドンコ					○							NT	
	ゴクラクハゼ			○									CR+EN	絶滅より変更
	ウキゴリ				○								NT	
	スミウキゴリ			○										
	カジカ(ウツセミカジカを含む)			○									CR+EN	
	スナヤツメ			○							VU	R	CR+EN	
昆虫類	グンバイトンボ							○			VU		NT	
	アオハダトンボ				○								NT	
	ムカシヤンマ							○					NT	
	ネアカヨシヤンマ	○											VU	
	マルタンヤンマ							○						
	ハッチョウトンボ							○					VU	
	クツワムシ				○								NT	
	カワラバッタ			○									VU	
	トノサマバッタ							○						
	ヒメハルゼミ				○								NT	
	コオイムシ			○							NT		NT	絶滅より変更
	タガメ	○									VU		CR+EN	
	ナベブタムシ				○									追加
	エリザハンミョウ				○									
	カワラハンミョウ			○							VU		CR+EN	
	コハンミョウ					○								
	オオオサムシ(陸島個体群)				○									
	マイマイカブリ(陸島個体群)				○									
	ヒョウタンゴミムシ				○									
	キバナガミズギワゴミムシ								○					
	マルチビゲンゴロウ			○										追加
	コマルケシゲンゴロウ			○									NT	追加
	ホソクロマメゲンゴロウ								○					
ゲンゴロウ			○							NT		NT		
コガタノゲンゴロウ	○									CR+EN		CR+EN		
シマゲンゴロウ			○											
サワダマメゲンゴロウ					○								追加	
オオクワガタ	○									NT		NT		
コルリクワガタ				○										
オビモンマグソコガネ								○					VU	
ヒゲコガネ								○					NT	

(注)文化財保護法：特別天然記念物，天然記念物(国指定)，広島県天然記念物  
種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」，国際希少野生動植物種，  
国内希少野生動植物種  
県保護条例：「広島県野生生物の種の保護に関する条例」，指定野生生物種，特定野生生物種  
環境省RDB，広島県RDB：EXは絶滅，CR+ENは絶滅危惧Ⅰ類，CRは絶滅危惧ⅠA類，ENは絶滅危惧ⅠB類，  
VUは絶滅危惧Ⅱ類，NTは準絶滅危惧，DDは情報不足  
水産庁RDB：Eは絶滅危惧種，Vは危急種，Rは希少種

表2 広島市の絶滅のおそれのあるもの等の選定状況と法等指定状況(分類順) その7

分類群	和名	絶滅		広島市の絶滅のおそれのあるもの				法等指定状況						備考	
		絶滅	野生絶滅	絶滅危惧	準絶滅危惧	軽度懸念	情報不足	環境指標種	文化財保護法	種の保存法	県保護条例	環境省RDB	水産庁RDB		広島県RDB
昆虫類	ジュウシチホシハナムグリ						○								
	ホソコハナムグリ							○						NT	
	クロカナブン							○							
	ヤマトタマムシ							○							
	ゲンジボタル							○							
	ヘイケボタル							○							
	ハネナシセスジキマワリ						○								
	ウスバカミキリ							○							
	オオクロカミキリ				○									NT	
	キマダラカミキリ							○							
	ミヤマカミキリ							○							
	ヨツスジトラカミキリ							○							
	ヤマトシロオビトラカミキリ						○								
	タテジマカミキリ						○								
	セダカコブヤハズカミキリ							○							
	ヒゲナガカミキリ				○									NT	
	クワカミキリ							○							
	シロスジカミキリ							○							
	アミメトビケラ							○							
	ギフチョウ			○								VU		NT	
	ウスイロオナガシジミ							○							
	ヒロオビミドリシジミ							○						VU	
シルビアシジミ	○										CR+EN		CR+EN		
オオウラギンヒョウモン	○										CR+EN		EX		
オオムラサキ						○					NT		NT		
クモ類	キシノウエトタテグモ					○					NT		NT		
	キノボリトタテグモ					○					NT		NT		
甲殻類	カブトガニ			○							CR+EN		CR+EN		
	テナガエビ			○											
	スナガニ			○									NT		
	ハクセンシオマネキ			○							NT		NT		
	アカテガニ					○									
陸産貝類	ハンジロギセル			○							CR+EN		CR+EN		
	ホソヒメギセル			○							NT		NT		
	モリヤギセル			○											
	カワリダネビロウドマイマイ			○							NT		NT		
淡水産貝類	カタハガイ			○							NT	R	NT		

(注) 文化財保護法：特別天然記念物，天然記念物(国指定)，広島県天然記念物  
種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」，国際希少野生動植物種，国内希少野生動植物種  
県保護条例：「広島県野生生物の種の保護に関する条例」，指定野生生物種，特定野生生物種  
環境省RDB，広島県RDB：EXは絶滅，CR+ENは絶滅危惧Ⅰ類，CRは絶滅危惧ⅠA類，ENは絶滅危惧ⅠB類，  
VUは絶滅危惧Ⅱ類，NTは準絶滅危惧，DDは情報不足  
水産庁RDB：Eは絶滅危惧種，Vは危急種，Rは希少種

### 3 巨樹一覧表

表3 天然記念物に指定され保護されている巨樹または名木 その1

番号	名称	所在	説明	天然記念物指定
1	東野のモッコク	安佐南区東野2丁目	樹高4m, 胸高幹囲(地上1.3mで測定)1.9m	県指定
2	正伝寺のクロガネモチ	安佐南区相田4丁目	樹高16.5m, 胸高幹囲4.6m, 根回り3.72m, 枝張り東西17.8m 南北20.7m	県指定
3	長束の蓮華マツ	安佐南区長束2丁目	樹高9m, 目通り幹囲3.54m, 枝張り東西26m 南北25m	県指定
4	神原のシダレザクラ	佐伯区五日市町石内神原	樹高8.6m, 胸高幹囲2.68m, 枝張り東西11m 南北12m	県指定
5	燈明杉	安佐北区可部町綾ヶ谷	樹高23~40m, 胸高幹囲3.9~5.2m	市指定
6	カヤ	安佐北区可部町上原	樹高16m, 根回り4.01m	市指定
7	切幡神社の大ケヤキ	安芸区中野東7丁目	樹高31m, 胸高幹囲4.8m, 枝張り東12m 西10m 南15m 北12m	市指定
8	中の森八幡神社のアラカシ	安佐南区沼田町吉山	樹高28m, 根回り5.2m, 枝張り東5.6m 西8.2m 南4.6m 北10.8m	市指定
9	峠八幡宮のオオツクバネガシ	安佐北区可部町大林	樹高18m, 目通り幹囲4.45m, 枝張り東9.5m 西7.0m 南8.6m 北2.6m	市指定
10	宮野八幡神社の大エノキ	安佐北区安佐町宮野	樹高30m, 根回り5.55m, 目通り幹囲4.55m, 枝張り東14m 西15m 南13m 北12m	市指定
11	新宮神社の大イチヨウ	安佐北区白木町井原	樹高35m, 根回り7.4m, 目通り幹囲6.9m, 枝張り東9.3m 西8.7m 南10.4m 北12.3m	市指定
12	温井八幡の乳下りイチヨウ	安佐南区川内5丁目	樹高24m, 根回り5.25m, 目通り幹囲4.31m, 枝張り東9.5m 西7.0m 南6.5m 北10.0m	市指定
13	可部町中野の千代の松	安佐北区可部1丁目	樹高9m, 根回り3.12m, 胸高幹囲2.6m, 枝張り東西17m 南北11m	市指定

表3 天然記念物に指定され保護されている巨樹または名木 その2

番号	名称	所在	説明	天然記念物指定
14	新宮神社のイチイガシ及びイヌマキ	安佐南区長楽寺3丁目	イチイガシ:樹高17.4m, 胸高幹囲1.45m, 枝張り東7.9m・西3.3m・南6.0m・北2.5m。イヌマキ:樹高16.5m, 胸高幹囲2.23m, 枝張り東7.0m・西6.4m・南6.5m・北6.9m	市指定
15	友広神社のイチヨウ	安佐北区可部南1丁目	樹高約25m, 胸高幹囲4.15m, 枝張り東8.2m・西6.1m・南8.1m・北9.7m	市指定
16	ヒロシマエバヤマザクラ	中区江波山公園	樹高14m, 胸高幹囲2.51mと1.76, 枝張り東4.2m・西13.1m・南12.8m・北10.2m	市指定
17	久日市のムクロジ	佐伯区湯来町大字下字長縄836	樹高20m弱, 胸高幹囲4.87m, 枝張り南から50°西へ10.9m, 南から70°東へ10.9m, 北から40°西へ7.2m	市指定
18	重光神社のカヤの木	佐伯区湯来町大字白砂1280	樹高20m強, 胸高幹囲3.82m, 枝張り北から40°東の方位へ10.8m, 北から10°西の方位へ11.2m, 南から40°東の方位へ8.4m, 南から50°東の方位へ7.2m	市指定
19	栗屋郷のトチの木	佐伯区湯来町多田大畑	樹高約25m, 胸高幹囲6.1m	旧湯来町指定
20	四本スギ	佐伯区湯来町和田東郷山恵下谷山国有林	樹高40~50m, 胸高幹囲11.8m, 枝張りは斜面上部へ向かって南から50°西の方位へ8.8m, 斜面下部へ向かって北から60°東の方位へ10m	旧湯来町指定
21	恵下谷のモミ	佐伯区湯来町和田恵下谷山国有林	樹高約35m, 胸高幹囲5.15m	未指定

(注) 1から16は「広島市の生物」より再掲。指定年月日順。樹高などの数値は指定調書による

表4 天然記念物の社寺林やその他の森林に生育している巨樹

番号	名称	所在	説明	天然記念物指定
1	新庄の宮の社叢	西区大宮1丁目	主要樹木の胸高幹囲は、クスノキが6.40mと5.50m、ムクノキが3.25mと3.08m、エノキが3.04m、タブノキが2.81m、ケヤキが2.14m、ムクロジが1.93m	県指定
2	阿刀明神社の社叢	安佐南区沼田町	主要樹木の胸高幹囲は、タブノキが3.62m、コウヤマキが2.57mと2.20m、スギが3.41m	市指定
3	筒瀬八幡神社の社叢	安佐北区安佐町筒瀬	主要樹木の胸高幹囲は、アラカシが2.00mと1.88m、タブノキが3.10mと2.82m、ナナメノキが1.44m	市指定
4	馬木八幡神社の社叢	東区馬木5丁目	主要樹木の胸高幹囲は、シイが1.96mと1.91m、1.66m、コナラが1.32mと1.30m	県指定
5	養山八幡神社の社叢	安佐北区安佐町小河内	主要樹木の胸高幹囲は、ツクバネガシが2.90m(1991年の台風19号で折れた)、ウラジログアシが2.05mと1.53m、ヤブツバキが1.27mと1.07m、スギが3.93mと2.84m、カヤが2.23mと2.10m	市指定
6	松笠観音の巨樹群	安佐北区口田南町	主要樹木の目通り幹囲は、スギが3.45mと2.90m、2.15m、ヒノキが2.65m、アベマキが3.10m、モッコク(地上1mの幹囲)が1.90m	市指定
7	福王寺山のコジイ林	安佐北区可部町綾ヶ谷	主要樹木の胸高幹囲は、コジイが2.40m	
8	宇那木神社の社叢	安佐南区緑井町	主要樹木の胸高幹囲は、クロマツが3.20m、スギが2.92m、シイが2.64m	
9	中須賀神社の社叢	安芸区畑賀町	主要樹木の胸高幹囲は、シイが2.39m	
10	元宇品のコジイ林	南区元宇品町	主要樹木の胸高幹囲は、クスノキが5.98m、アベマキが2.25m	
11	平藪神社の社叢	安佐北区白木町志路	主要樹木の胸高幹囲は、オオツクバネガシ4.40m、シラカシが5.20m、スギが3.50m、ヒノキが4.50m	
12	臼山八幡神社の社叢	佐伯区五日市町石内	主要樹木の胸高幹囲は、スギが4.80m、タブノキが3.95m、スギが3.50m	

(注)「広島市の生物」より再掲